

平成30年館林市議会第2回定例会  
一般質問通告順位表

1. 渋谷理津子 君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 東部環状線の安全対策について	<p>東部環状線が開通されましたが、交差点を横断する際の安全対策について伺います。</p> <p>①計画決定から供用まで、どのように整備していく予定ですか。 ②開通後の交通状況について、どのように把握していますか。 ③交差点の状況をどのように認識していますか。 ④横断の際の交通安全対策について伺います。</p>	所管部長
(2) 文化財について	<p>本市における文化財の現状と無形文化財の保存継承の取り組みについて伺います。</p> <p>①本市における文化財と文化財指定の状況について伺います。 ②無形文化財の定義と本市の伝統芸能について伺います。 ③伝統芸能の保存・継承・育成についてどのように取り組んでいますか。</p>	所管部長

2. 向井 誠 君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 食品ロスに対する現状と今後の対策について	<p>食品ロス問題について、国連の「持続可能な開発目標」SDGsで2030年までに食品ロスの半減が定められていることを踏まえ、視察した松本市の先進事例を紹介しながら、館林市の食品ロスの現状と今後の取り組みについて問う。</p> <p>①本市における食品ロスの現状をどう認識しているのか。 ②30・10運動を推進していく考えは。 ③飲食店や事業所に対する働きかけは。 ④家庭での食品ロス対策に向けた意識づけ方法は。 ⑤市内における連携体制について問う。 ⑥園児や小学生に対する環境教育のあり方について問う。</p>	所管部長

### 3. 齊藤貢一君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 当市の観光振興策について	<p>東京オリンピック、パラリンピックを控え、訪日客の増大や観光形態が変わる中、観光に対する認識や波及効果にも変化が顕著に捉えられています。そんな中、当市としてはどのような認識を持って、まちづくりにも直結する観光推進策と未来像を描いているのか伺います。</p> <p>①「館林市観光振興に関する提言書」について問う。            ②茂林寺周辺観光地化推進事業について問う。            ③観光協会について問う。            ④リノベーションまちづくり事業について問う。            ⑤観光とスポーツとの関係について問う。            ⑥茂林寺前駅西側区域市道整備事業について問う。            ⑦市長の観光振興策とまちづくりの方向性について問う。</p>	市長・所管部長

### 4. 小林信君 【総括質問】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 政策・新規事業の決定、実施に至る経過と市長の市政運営について	<p>新たな政策や新規事業を決定、実施するために庁内論議はどのように行われ、意見集約等はどのように把握されているのか。市民や職員等の意見等は取り入れているのか。</p> <p>①政策や新規事業はどのように提案されるのか。            ②内容等はどの範囲までに知らされ、どのように決定され、実施に移されるのか。            ③市長就任から1年、市政運営にどのようなことに留意してきたのか。</p>	市長・所管部長

5. 篠木正明君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 職員の再任用制度について	<p>公的年金の支給開始年齢が段階的に引き上げられることに伴い、再任用制度が導入されたが、制度が適切に運用されているのか。</p> <p>①平成29年度定年退職者の再任用意向調査の結果及び任用実績はどうなっているのか。            ②再任用で任用される定年退職者と嘱託職員として任用される定年退職者がいるのはなぜか。            ③常時勤務の再任用が少ないのはなぜか。            ④どのように再任用職員の勤務条件を決めるのか。            ⑤今後、再任用制度をどのように運用するのか。</p>	所管部長
(2) 板倉町との合併の効果とシンポジウムの開催について	<p>板倉町との合併が館林市の将来に有効なのか。また、市民参加の方法の1つであるシンポジウムはいつ開催するのか。</p> <p>①合併は「持続可能なまちづくり」にどのような効果があるのか。            ②合併についてのシンポジウムはいつ開催するのか。</p>	所管部長

6. 渡辺充徳君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 学校事故の再発防止について	<p>学校の設置者は、児童生徒等の安全を確保するにあたり、事故等の未然防止が第一であるが、万一、事故等が発生した場合、再発防止が求められる。</p> <p>そこで、再発防止の取り組み状況、再発防止のための調査委員会設置の必要性等について問う。</p> <p>①柔道事故調査報告書及び提言書を受けた後の取り組みはどうなったか。</p> <p>②学校事故後の学校事故防止マニュアル等の整備・運用状況は。</p> <p>③「学校事故対応に関する指針」に照らした再発防止策の取り組み状況を問う。</p> <p>④重大事故に対応する調査委員会設置の必要性についての見解は。</p> <p>⑤調査委員会設置条例制定の許容性についての見解は。</p>	教育長
(2) 水防について	<p>市長の政策目標に「災害時の危機対応能力の高いまちを目指します」が挙げられている。</p> <p>災害の一つである水害への本市の備え、水防について伺います。</p> <p>①河川管理の状況はどうであるか。</p> <p>②洪水浸水区域、家屋倒壊危険区域、水位周知下水道、雨水出水浸水想定区域の状況について問う。</p> <p>③要配慮者利用施設・学校施設の避難確保計画の整備は進んでいるか。</p> <p>④住民の水防意識の向上等、今後の取り組みについて問う。</p>	市長・所管部長

7. 吉野高史君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1)本市の行財政運営について	<p>本市の行政運営や財政運営については、市民から辛口のコメントをよく耳にします。こうした状況を市長就任から一年を経過し市長自身はどのように考え、これからの市政運営にどのように生かしていこうと考えているのか、広く市民に伝えて行くべきと考えます。その事が、これから長期に市政運営を行っていく若い市長の大切な指標にもなります。市民の皆さんから批判されているようでは、政治離れも増々加速をして、今年9月に行われる市議会議員選挙の投票率の低下になると考えます。</p> <p>①そろそろ選挙時の投票率アップに向けた取り組みが必要な時期だがその対策について伺う。          ②市民を災害から守るための、情報伝達手段の方向性について伺う。          ③市債を減らしていく事についてはどのように考えているのか伺う。          ④市民の不満(マイナス面)をどのように捉えて、どのように変えていこうと考えているのか伺う。          ⑤市民からの声(プラス面)をどのように捉えて、行政に生かしているのか伺う。          ⑥国からのひも付き予算が主流のようだが、財源確保と本市独自の政策についての考え方について伺う。</p>	市長・所管部長